

⑥習熟の程度に応じた指導(評価を含む)

取組の具体①

○「指導と評価の一体化」を目指した授業計画

・明瞭な評価計画と生徒との共有

4月の教科開きの時に、全教科で評価について共有します。「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びにむかう力」について「何を、いつ、どのように評価するのか」を生徒と確認します。(資料①)

全教科で共通した形式を用いることで、生徒の評価に対する意識を高めます。

・組織的な單元テストの実施

評価と補充指導の充実を図るため、全教科で単元テスト(技能教科を含む)を実施しています。(4月に単元テスト計画を全生徒に配布)(単元テスト計画:資料②)

単元テストが形骸化しないために、単元テスト実施のルールを全教員で確認しています。

(単元テスト実施のルール:資料③)

(生徒への単元テスト範囲発表:資料④)

○習熟の程度に応じた手立てを生かした授業の展開

- ・「習熟の程度に応じた手立て」を視点とした学校研究の実施

学校研究後の授業後研究では、「習熟の程度に応じた手立て」を討議の柱の一つにしています。

・評価の仕組み

小テスト、単元テスト、定期テストと生徒の「力試し」（教師にとっては「見取り」のチャンス）の機会を複数回実施しています。その都度、補充学習の機会を持ち、C層をB層に引き上げる工夫をしています。また、定期テストでは単元テストでさらに補充が必要な分野を範囲指定するようにしています。

・生徒同士の教え合いの時間の確保

授業の中では、「分からない」が伝えやすい工夫をしています。特に、生徒同士の教え合いの時間は積極的に確保しています。

評価計画(資料①)

[illegible]

単元テスト計画(資料②)

2026(令和8)年度 単元テスト 計画【社会科 2年】			
次のような予定で単元テストを行います。学習の進度や理解の程度により変更します。			
●実施予定の単元は、教科書に「単元」で示されています。教科書によって、実施時期は前後する場合があります。			
●実施予定の単元は以下のとおりです。<国語>は教科書に「単元」で示されています。<理科>は「単元」ではなく「領域」で示されています。			
単元・教科分野	学習領域	予定実施時期	予定実施教科
歴史的分野	近世の日本（ヨーロッパの文化と日本と全通観）	4月下旬～5月上旬ごろ	国語・歴史
歴史的分野	近世の日本（江戸幕府の成立と鎖国）	5月中旬～下旬ごろ	国語・歴史
歴史的分野	近世の日本（産業の発達と幕府政治の動き）	6月中旬ごろ	国語・歴史
地理的分野	地域間の関係と、日本の地域特性と地域区分	9月中旬～9月下旬ごろ	国語・地理
地理的分野	日本の諸国境（九州地方、中国・韓国地方）	10月上旬～10月中旬ごろ	国語・地理
地理的分野	日本の諸国境（近畿地方・中部地方・関東地方）	11月上旬～11月中旬ごろ	国語・地理
地理的分野	日本の諸国境（東北地方・北海道地方）	1月中旬ごろ	国語・地理
歴史的分野	開港と近代日本の歩み	2月下旬ごろ	国語・歴史

単元テストのルール(資料③)

単元テストに関する共通理解（教員用）

- ・4月年度当初に単元テスト計画を生徒と確認すること。
- ・1週間以上前に日時、範囲の告知を行うこと。(ロイノなどを使い、生徒全員に知らせる工夫をすること)
- ・1週間に2教科までを限度とし、生徒の負担軽減を行うこと。教務と連絡調整を行うこと。
- ・単元テストの範囲と並行して、ワーク等副教材の適時点検を行い、生徒の負担にならないペースで実施できるように指導をすること。

単元テストの範囲発表(資料④)

1年国語単元テスト

日時・9月1日(火) 20分間

範囲・★文節、単語に分ける文法
 教科書P75
 新基礎の学習P47～49
 言葉のきまりP2～7

提出物・言葉のきまり
P7まできちんとやって、採点
したもの